

(仮称) 山の駅飯綱高原等の整備運営イメージ
～飯綱高原の魅力を発信！『飯綱高原ブランド化計画』～

長野市商工観光部観光振興課

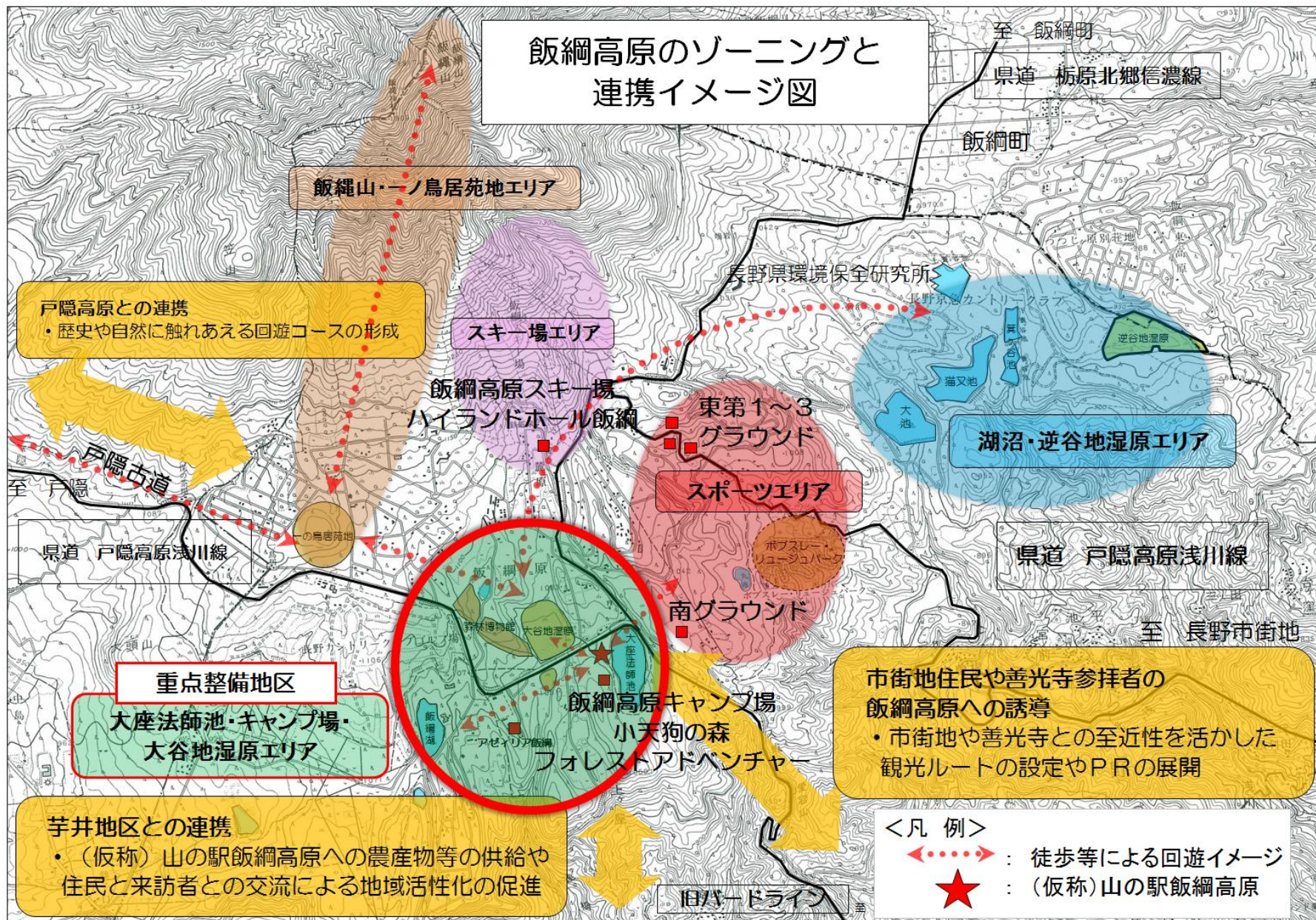
■ 飯綱高原にはキャンプ場や自然を生かしたアスレチック施設など、訪問者に非日常空間を提供できる既存施設が多く点在している。



各施設の連携を促進し、滞在時間・観光消費額を延ばすコンテンツの提供を通じて「飯綱高原のブランド化」と地域振興を目指すとともに、（仮称）山の駅飯綱高原は、施設間の連携・回遊の拠点施設とする。

■ （仮称）山の駅飯綱高原等整備運営事業の実施にあたっては、上記を踏まえた上で、次に掲げる項目を基本方針とする。

- ① 市街地からの至近性と豊かな自然環境を生かした**戦略的な観光施策の推進**
- ② 来訪者との交流による**地域産業と地域コミュニティの活性化**
- ③ 民間活力導入による、**効率かつ効果的な施設運営**





大谷地湿原

山の駅整備予定地

山の駅ゾーン



(イメージ)

キャンプ場ゾーン



小天狗の森・フォレスト
アドベンチャーゾーン



水辺・芝生ゾーン



水上テラス
(今年度整備予定)



A 山の駅ゾーン（設計・施工プロポーザル提案対象・指定管理対象施設）

■ 整備方針（詳細は設計及び建設・工事監理業務に係る要求水準書12ページ以降参照）

大座法師池周辺エリアの周遊の拠点施設として、**山の駅**を新設。

① 山の駅本体

飲食施設、屋内アクティビティ施設、物販施設（農産物直売施設を含む）

観光インフォメーション（キャンプ場・ボート場受付、周辺案内コーナー等）

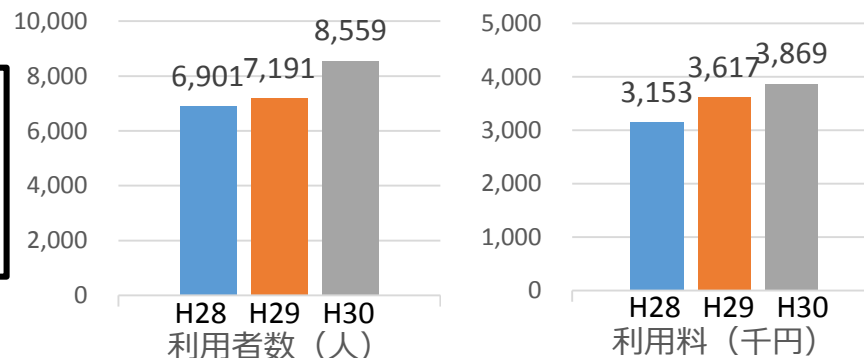
公衆トイレ（24時間開放、キャンプ場兼用）

② **駐車場** 新規駐車台数69台程度（うち大型車2台程度）

B キャンプ場ゾーン（設計・施工プロポーザル提案対象・指定管理対象施設）

■ 現状

- ・ **キャンプ場利用客は増加傾向**
- ・ **バンガロー、炊事場等施設が老朽化**



■ 整備内容の例 ・ **バンガロー**（5棟）撤去及び**フリーサイト**拡張

- ・ **グラビング**や**既存ログキャンピンの改修**等、付加価値の高いキャンプ施設の導入
- ・ **炊事場、既存トイレ(ウォシュレット設置)**等、快適な滞在環境の整備

C 水辺・芝生ゾーン（指定管理対象施設）

■ 現状

- ・ボート場は、**休日を中心に一定の利用がある**
- ・芝生広場は、**観光協会のイベント（火まつり、フリーマーケット、雪合戦等）等の利用が中心**

■ 整備イメージ

- ・水辺や芝生広場を活用した事業者提案による**新たなアクティビティの導入**
- ・既存水上ステージを、食事等にも利用可能な**水上テラスに改修**※
- ・彩どり豊かな山野草等の植栽（大座法師池周辺）※

※については設計施工プロポーザル提案対象外とし、市が別途予算措置し実施する予定



水上アクティビティの例

D 小天狗の森・フォレストゾーン（指定管理対象施設（フォレストアドベンチャーを除く））

- 現状 ・小天狗の森（無料）は、一部木製遊具の老朽化が進んでいる。

■ 整備方針

- ・小天狗の森の老朽化した遊具については計画的な改修を進めるとともに※、隣接するフォレストアドベンチャー長野とも連携した事業展開を行う。

※については設計施工プロポーザル提案対象外とし、市が別途予算措置し実施する予定



冬季のアクティビティの例



No.	導入施設
①	レストラン・カフェ
②	アクティビティ
③	物販・直売
④	観光インフォメーション
⑤	トイレ
⑥	バックヤード
⑦	共用スペース

面積計 = 1,100m² 想定

整備予定敷地
3,000m²未満

建蔽率 = 40%以下
容積率 = 80%以下

駐車場拡張
(69台増)

既存駐車場
(合計113台)

解体
解体

キャンプ場
管理事務所

炊事場

普通車
23台

普通車
24台

普通車
10台

普通車
18台

普通車
10台

普通車
18台

板羽高原
観光案内所

(1) 飲食施設

- ・地元食材を活用した魅力的なメニューの提供
⇒キャンプ場利用者などへ食材の販売、水上テラスへ誘導
- ・Wi-Fi等完備の「森のワークスペース」（テレワーク）の設置

【想定規模】

○レストラン+カフェ 50席程度 ○必要面積 = 約150㎡程度（厨房スペース含む）

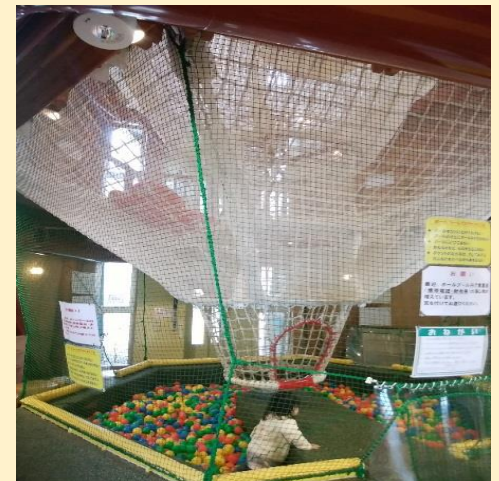


(2) アクティビティ施設

- ・全天候型の大規模遊具等の設置
- ・平日は自然体験等を求めるアクティブなママ友グループを、
休日はキャンプ等を行う子育て世代をターゲットに。
- ・イベントや子供をみながら休むことができる多目的スペースを併設

【想定規模】

○必要面積 = 約400㎡程度



(3) 物販施設

・新鮮な地元産農産物等を販売

⇒朝穫れ野菜などの付加価値の高いものを提供

・野菜直売は地元が組織する農産物等出荷組合を利用することにより、地域産業を振興

・キャンプ客などを意識した商品展開

【想定規模】

○必要面積 = 約210m²程度



(4) 観光インフォメーション

・キャンプ場との連携・機能集約によるワンストップサービス

・レンタルやルディックウォーキング等のアクティビティの導入により地域内の回遊性を高める

・飯綱高原及び周辺地域の観光情報提供場所を設ける

【想定規模】

○必要面積 = 約70m²程度



(5) 公衆トイレ

- ・24時間利用可能な公衆トイレ
- ・主な利用を想定する子育て世代に対応した「優しい」トイレ
- ・既存の公衆トイレは山の駅に機能集約して撤去

【想定規模】

○必要面積 = 約100㎡程度



(6) 駐車場

- ・連休や夏休みなどのピーク時には、既存駐車場が満車となることから、既存部分を拡張し山の駅来訪者のための駐車場を確保する
- ・サイクリングを楽しむ方のために、サイクルスタンドを設置

【想定規模】

○必要台数 = 増設台数 計69台 (既存駐車場113台)



【事業手法】

■ 設計・施工に運営を加えた一括プロポーザル方式を採用

⇒運営者が自社のアイデアを活用し魅力ある施設とするため、運営者の意向を設計・施工に直接反映できる仕組みとし、効果的かつ効率的な管理運営とする。

【プロポーザルで求める提案内容】

■ 山の駅の整備及び飯綱高原キャンプ場の再整備に係る設計施工

■ 山の駅及びキャンプ場等に係る管理運営

- ・既存の芝生広場、水辺ゾーンの活用案
- ・冬季の誘客対策 等

【プロポーザルにおける上限額】

■ 6.6億円以内⇒(仮称)山の駅(駐車場含む)整備及びキャンプ場再整備に係る設計・監理・工事請負費

【運営に関する基本条件】

■市から、指定管理料の支払いはせず、独立採算での運営

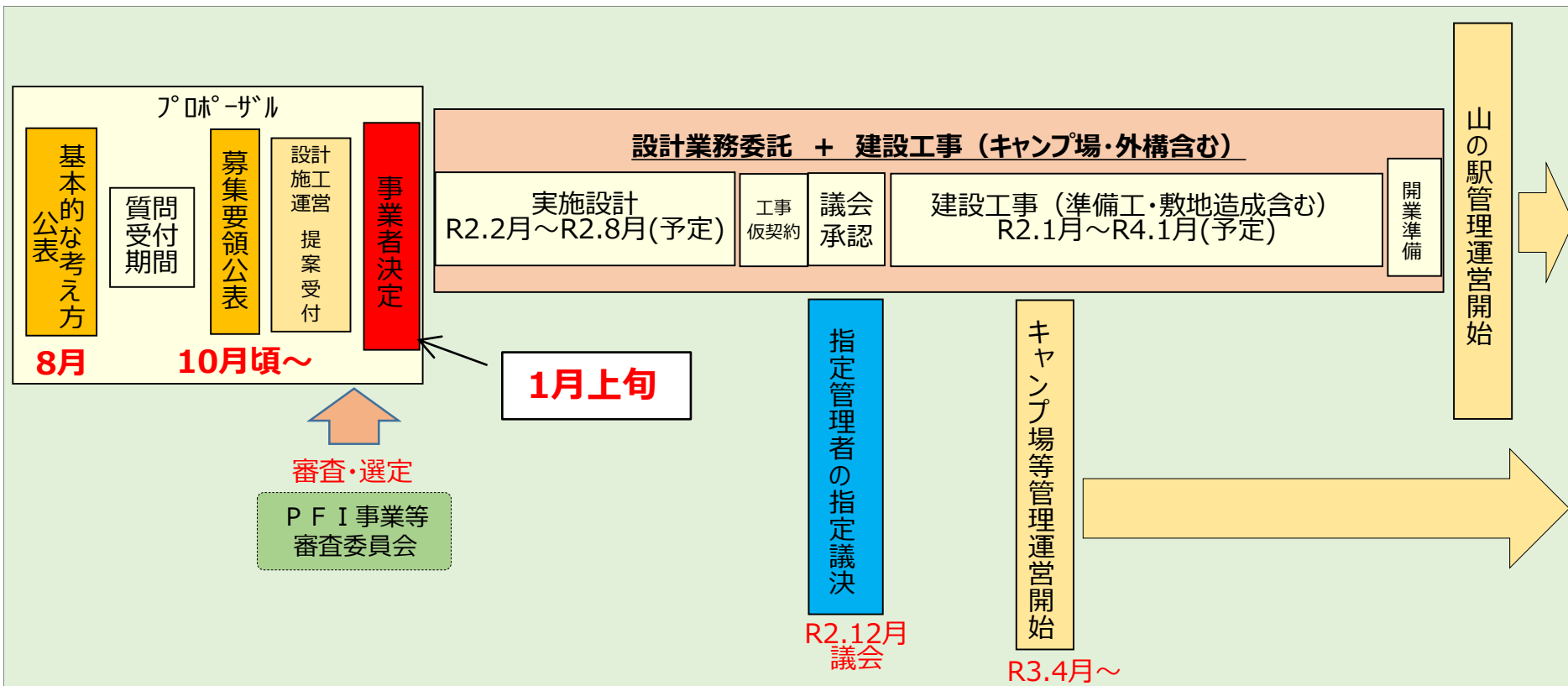
■営業期間は、通年営業を基本とするが、冬季間(11月から3月)に限り、土日祝日のみの営業とする提案も可能

※キャンプ場営業については、4月から10月まで

令和元年度

令和2年度

令和3年度



■ 上記スケジュールはイメージであり、工期短縮及び早期開業に向けた積極的提案を期待する。

■ キャンプ場等の管理運営開始時期は、令和3年度の4月とする。

大座法師池周辺・12時間道路交通量調査結果 (7:00~19:00)
・平成30年8月23日(水)~8月27日(月)実施

車種	平日	休日
普通車	3,855	4,885
大型車	86	76
計	3,941	4,961

道路交通量に基づく市の試算

施設名		飯綱高原
交通量	平日	3,941台
	休日	4,961台
試算人数		218,000

【参考】利用実績

平成27年度道路交通センサスの交通量と施設の利用実績
(12時間交通量) 7:00~19:00

施設		信州新町	中条	大岡
交通量	平日	8,611台	4,093台	3,776台
	休日	交通センサス上データ無し		
実績人数		383,209	230,780	173,965

市が想定する三段階の推計

上位推計 年間 218,000人

中位推計 年間 144,000人

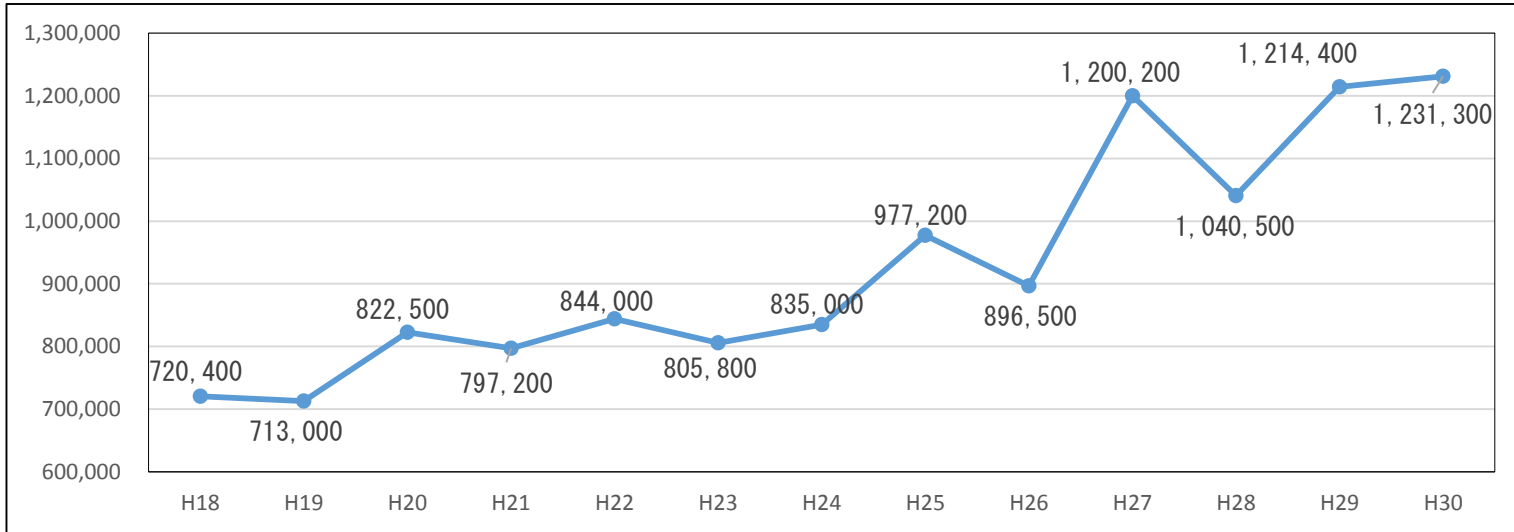
下位推計 年間 114,000人

※この試算結果は、市が想定したものであり、収支計画の提案においては、交通量調査の結果を参考に、事業者が独自に行うこと。

資料：長野市観光概要

飯綱高原の年別来訪者状況推移

(人)



飯綱高原の月別来訪者状況

※過去10年間 (H21~H30) の平均値 (人)

